

## JGB10、JGB20 を電気工事なしで使う場合の注意点

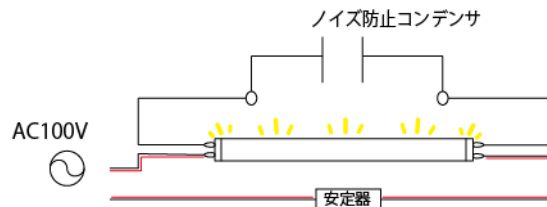
電気工事なしでそのまま使える JGB10、20 ですが、非常に便利な反面、以下の注意点があります。ご使用にあたり必ずお読み頂きご理解の上ご使用お願い申し上げます。

### 安定器と雑音防止コンデンサの寿命に関して

蛍光管をそのまま交換しますので、もともとの蛍光管用についていた安定器（コイル）とグロー球に並列で取り付けられている雑音防止コンデンサが LED 蛍光灯に取り替えた後も回路上に残ります。JGB シリーズ蛍光灯自体は 6 万時間の長寿命設計ですが、もし、これらに寿命（ショートモード or オープンモードで壊れる）がきた場合、JGB シリーズ蛍光灯が破損することはないですが、一時的に不点灯になる可能性があります。実際には蛍光管の場合に 600 mA 程度流れる電流が JGB シリーズ蛍光灯で点灯する場合は 1 / 10 程度の電流値で使用することになり安定器の寿命も大きく伸びるためこのような事態が発生する可能性は少ないと思われまます。実際に、2009 年夏に発売開始以来 5 万本以上を設置しておりますが実際にコンデンサも安定器も壊れて不点灯になる事例は 2012 年 4 月現在一件も報告されておりましたが、もしも、コンデンサ or 安定器の故障した場合は以下の如く対応して下さい。

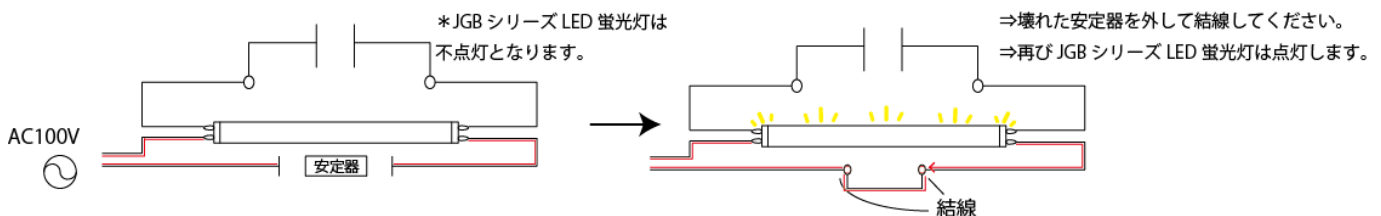
<そのまま交換した場合>

(LED 蛍光灯 JGB シリーズの点灯回路 通常時)

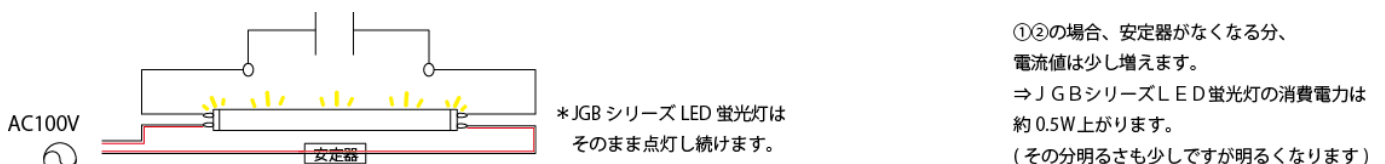


<対応策>

① 安定器（コイル）がオープンモードで壊れる場合。

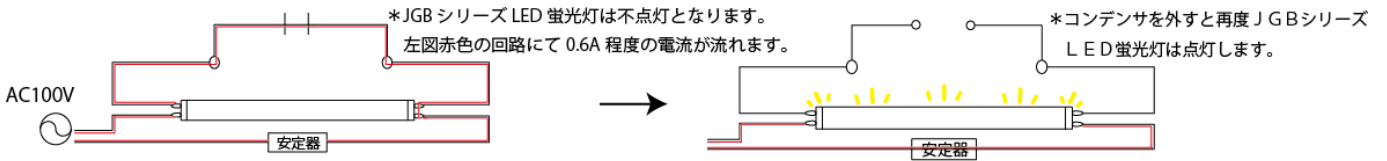


② 安定器（コイル）がショートモードで壊れる場合。

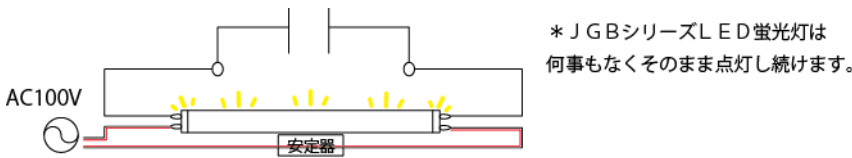


③ コンデンサがショートモードで壊れる場合。

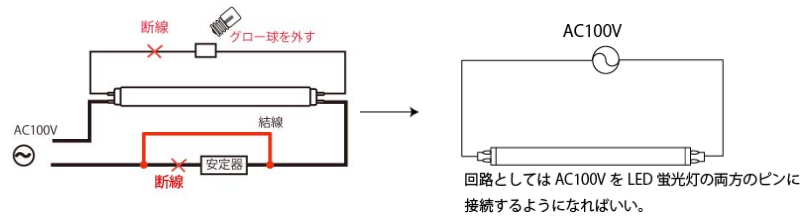
(実際にはコンデンサはオープンモード壊れるものですのでショートモードで壊れることはあまり考えられません。もしそうなった場合です)



④ コンデンサがオープンモードで壊れる場合。



可能性は低いですが、将来上記のような工事を確実に避けるためには、最初に JGB シリーズ蛍光灯を取り付けるときに安定器と雑音防止コンデンサを外す以下の工事を行ってください。



以上。